

報道関係者各位

日本の北限茶産地への挑戦！ ルピシア「北限のお茶プロジェクト」が本格始動 北海道・ニセコに茶樹600本を植樹

世界のお茶専門店ルピシア（本社：北海道虻田郡ニセコ町、社長：水口博喜）は、北海道・ニセコに茶樹「さやまかおり」600本を植樹します。

2015年より挑戦を続けてきた、お茶の露地栽培の北限を目指す「北限のお茶プロジェクト」の一環として生産量の拡大を図ります。

今回植樹する茶樹は、静岡県の農家の方から譲り受けたもの。「さやまかおり」は埼玉県入間市で誕生した品種で、香り立ちの華やかさと耐寒性の強さが特徴です。寒冷な地でこそ育めるユニークな風味を求めて、また過去に「北限のお茶プロジェクト」で収穫まで辿り着いた品種であることも後押しとなり、600本の植樹に踏み切りました。プロジェクト開始時からご指導いただいている、宮崎県・五ヶ瀬の釜炒り茶の巨匠、興梠洋一さんとともに栽培にあたります。

本来、茶樹は温暖な気候を好み、日本におけるお茶の経済的栽培の北限は、一般的に新潟県村上市と茨城県久慈郡大子町を結んだ線付近といわれています。その北限を大きく超えた、冬には最低気温がマイナス20℃前後まで下がることがある、北海道・ニセコの厳しい寒さの中で生育できるかは未知数ですが、越冬方法や栽培について失敗と成功を繰り返して収穫に辿り着いた経験をもとに、「北限のお茶」を一人でも多くの方にお届けし、食の楽しさをお伝えできるよう挑戦を続けていきます。

また、茶畑の隣ではレモンバームやワイルドストロベリーなどハーブの栽培にも取り組みます。将来的には、ハーブティーなどの原料として使用することを目指して、クロモジ、ラズベリーリーフ、エルダーフラワーなども試験栽培します。

日程：6月下旬～7月上旬 茶樹600本植樹

6月中 ハーブの作付け

場所：北海道虻田郡ニセコ町元町313-2

面積：1.3ヘクタール



羊蹄山を望む茶樹の植樹予定地



「北限のお茶プロジェクト」で栽培してきた茶樹



始めは小さな畑からスタートしました



こうろぎょういち
興梠洋一さん

宮崎県・五ヶ瀬で茶の栽培、伝統的な釜炒り茶の製造を行う。全国茶品評会で農林水産大臣賞を16回受賞。釜炒り茶の製造に独自の工程を組み込んだ「菱洞釜炒り茶」がフランス・パリで行われる「ジャパニーズティー・セレクション・パリ」で金賞を受賞するなど、伝統的な技術を継承しつつ新たな挑戦を続けている。

「北限のお茶プロジェクト」これまでの歩み

2015年6月	北海道・ニセコに5種42本の茶樹を植樹
2015年10月	初めての越冬に向けて茶樹の防寒対策を施す
2016年6月	17本が生き延びる
2017年6月	17本は再び越冬するも新芽の成長がほとんど見られず 新たに7本を植樹
2017年10月	越冬方法を見直す
2018年6月	わずかに新芽を確認
2020年6月	初めての収穫、その量17.1g
2021年6月	「さやまかおり」600本を植樹予定

「北限のお茶プロジェクト」はウェブサイトですべて随時更新しています。

<https://villa.lupicia.co.jp/ja/tea-industry.html>



(左) 初めての収穫の様子
(右) 収穫した茶葉



(左) 北限のお茶をテイスティング
(右) 深い緑色をした薄く大ぶりの茶葉

会社概要

【商号】株式会社ルピシア

【設立】平成6年8月17日

【店舗数】国内134、海外3（2021年5月24日現在）

【事業内容】世界のお茶・茶器雑貨等の輸入、製造・販売

【事業所】北海道虻田郡ニセコ町字元町436-2

【報道関係者様のお問い合わせ先】株式会社ルピシア 商品販促部（井上・尾辻）
TEL:03-5456-8268 FAX:03-5456-8276 MAIL:kouhou@lupicia.co.jp